

進路ニュース **みらい** 24号

広島市立広島養護学校 進路指導部 広報係

卒業する3年生へ

この一年間、卒業後の自分の生活や将来への夢や希望をイメージしながら、進路の取組をしてきました。好きな仕事や活動をさがしてきた人、次の目標を見つけた人など様々です。一人ずつ進路は違いますが、自分自身の未来へ向けて、今までの経験をバネに、さらなる成長を願っています。いつでも相談しに来てください。応援しています。(高等部三年生担任一同)

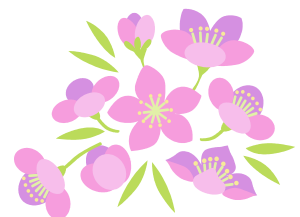
高等部1年生～進路学習の取組(校内実習)

1年生にとっては、この1年間の進路学習の集大成とも言える校内実習の取組について報告します。今年度は、「しいたけの菌打ち」「カキの殻通し」「クッキー作り」「縫製」「清掃」の5種目を実施しました。5日間連続しての作業、今年度新たに「縫製」「清掃」という新しい種目の導入など生徒にとっては普段の生活とは全く違う流れの中でとまどいもあったと思います。

ここで簡単に種目の紹介をします。カキの殻通しは、米田海産の協力で材料を提供していただきました。1本の針金に左右42枚ずつのホタテの貝殻とチップを交互にさしていきます。作業工程において分業がしやすく、個々の力に合わせた作業内容が選べます。しいたけの菌打ちは、ほだ木ヘドリルで穴を開け、菌を埋め込みます。電動ドリル・木づちなどのいろいろな道具を使いますので自分の力を試すことができます。今回の実習で150本のほだ木を作りました。クッキー作りは、材料の買い出しから、製造・販売までの行程を体験します。作業工程の中で、個々の力に応じて取り組むことができるように設定してあります。縫製では、ミシンを使い雑巾や布巾の制作をしました。作った製品は販売まで取り組みました。ミシンの操作や、布の裁断から製品にするまでを一人で担当しました。生徒は自分で最後までやったという達成感を味わうことができたようです。清掃は手順通りに作業を進めていき、ワックス・ポリシャーをかけました。清掃では、周囲への気配りや、仲間との協力・チームの一員としての動きなどをねらいに取り組みました。それぞれの種目では、慣れるまではとまどい、不安もあったようですが、生徒一人一人が最後までやり遂げることができました。5日間やり遂げたということが自信につながり、日々の生活の中でもその成果が出てきています。今後、実習でつけた力を2年生の職場体験実習に向けてさらに磨きをかけていって欲しいと思います。

高等部2年生～生徒職場見学

高2は1/24(火)に、10コースに分かれて職場見学に行きました。卒業後の自分の生活を考え、より進路先に近い施設・作業所・企業を訪問しました。生徒たちは、それぞれの場所で真剣な表情で見学や体験活動に臨み、自分の進路について真剣に考えようとする姿勢が見られ、さすがに高3が近づいてくるといふ自覚が感じられました。3月末には、個別の進路懇談会が行われます。これまでの進路の取組を振り返りながら、家族で進路について話し合う機会を持っていただく契機となればと思っています。



小学部6年生～中学部見学

1/18に中学部の作業学習(園芸、クッキング、陶芸、手工)を見学しました。初めて見る作業学習にドキドキ。「どんなことをしているの?」と興味いっぱい、おにいさん、おねえさんが活動する様子を真剣な表情で見ることができ、「この活動やってみたい」という気持ちを持つこともできました。



中学部～進路学習の取組(職場見学)

中学部は2学期から3学期にかけて進路学習の一環として、1年生はマツダミュージアム、2・3年生はどんぐり作業所へ職場見学(体験作業含む)に行ってきました。

マツダミュージアムでは、実際に自動車の製造ライン等も見学させていただきました。生徒たちは工場のスケールの大きさにびっくりしながらも、興味津々で見学していました。

どんぐり作業所の見学は所生さんの仕事に集中して打ち込む姿に感心しながら、少しですが作業を体験させていただきました。金具の取り付け作業は、金具の向きやネジの取り付けに苦労しましたが、みんな一生懸命がんばって作業に取り組みました。今回の職場見学の経験を今後の進路を考える機会としてもらえればと思っています。

卒業後の進路に向けて～「個別の移行支援計画」を活用します～

「個別の移行支援計画」は養護学校高等部生徒が「学校から社会へ」「子どもから大人へ」と移行する際に、生徒自らが主体的に自分の進路を決定する事を支援するために、高等部を中心に開発が進められた支援計画のツールです。本校では、学年ごとに積み上げられてきた進路実践をもとに、これまで実践されてきた進路指導の計画を、個別の進路指導計画の書式として作成し、改訂を加えながら卒業後の進路先への引き継ぎ書として活用を行うことになりました。更にはアフターケアの記録としてもできるように作成を行ったのが「個別の移行支援計画」です。この計画は、在学中からの「進路学習」「職場見学」「職場(体験)実習」「進路相談」「進路研修」等の取組を通して培った福祉・労働・医療機関等のネットワークをもとに、それらの関係者との連携・協力のもと、移行先の進路先に引き継がれることで、スムーズな移行が行われることを願って作成されています。今後、高等部の進路指導を進めるとき、保護者との情報交換や進路指導の取組とその評価は、この計画を通して相談・支援のツールとして活用することとなります。

